



帯広畜産大学 基金報告

—第12号—
(令和3年度)



目 次

学長挨拶	1
帯広畜産大学基金受入状況	2
令和3年度収支決算	3
学生修学支援事業基金	
令和3年度大学基金奨学生との懇談会を開催	4
基金奨学生からの感謝の言葉	5
大学運営支援事業基金	
馬介在活動室の新たな馬係留場の整備費用を助成	13
ちくだいらんぷ事業（学生による社会貢献事業）	14
その他	
寄附者ご芳名	16
帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿	21
帯広畜産大学基金関連規程	22

学長挨拶

帯広畜産大学の教育・研究活動に対し、日頃より皆様のご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また、大学基金事業にも多大なるご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。お陰をもちまして、令和3年度の大学基金事業が無事に実施できましたことを、ここにご報告させていただきます。

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に続き「ちくだいホームカミングデー」を開催中止としたほか、各地の同窓会等へ足を運ぶこともできず、皆様と顔を合わせて直接ご支援をお願いすることは、残念ながら叶いませんでした。

大学基金パンフレットの郵送によるご支援のお願いを中心として、同窓生の皆様や保護者の皆様にご協力を依頼したほか、本学関連企業・本学学生の就職先企業等の皆様にもご協力を要請いたしました。また、令和2年度から開始しました「帯広畜産大学リサイクル募金事業」にも引き続き多くのご協力をいただいております。

大変厳しい時勢の中、皆様から多大なるご賛同とご協力をいただきましたお陰で、令和3年度における大学基金へのご支援は、過去最高であった昨年度を上回る寄附件数となりました。これもひとえに皆様の温かいご厚情の賜物と深く感謝しております。

ご支援いただいた寄附金は、経済的に困窮している優秀な学生への奨学金給付、授業料・入学料の免除等の学生修学支援事業を中心に、大切に使用させていただきました。

また、令和3年度においては、大学運営支援事業として、学生による地域での社会貢献活動である「ちくだいらんぷ事業」への助成を行ったほか、本学の馬介在活動室を中心に展開している「障がい者乗馬事業」で使用する馬係留場（馬の繋ぎ場）の整備費用の助成にも大学基金を活用させていただきました。



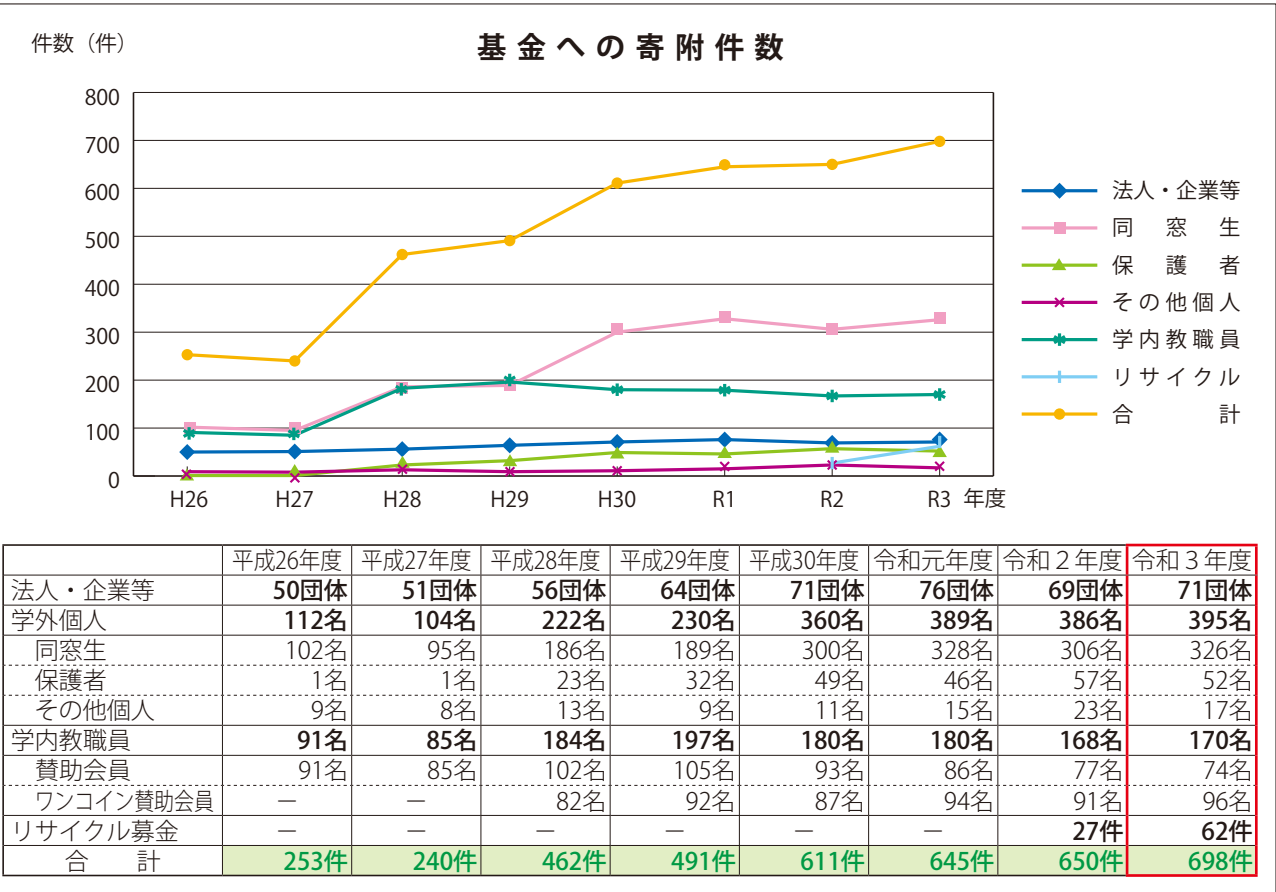
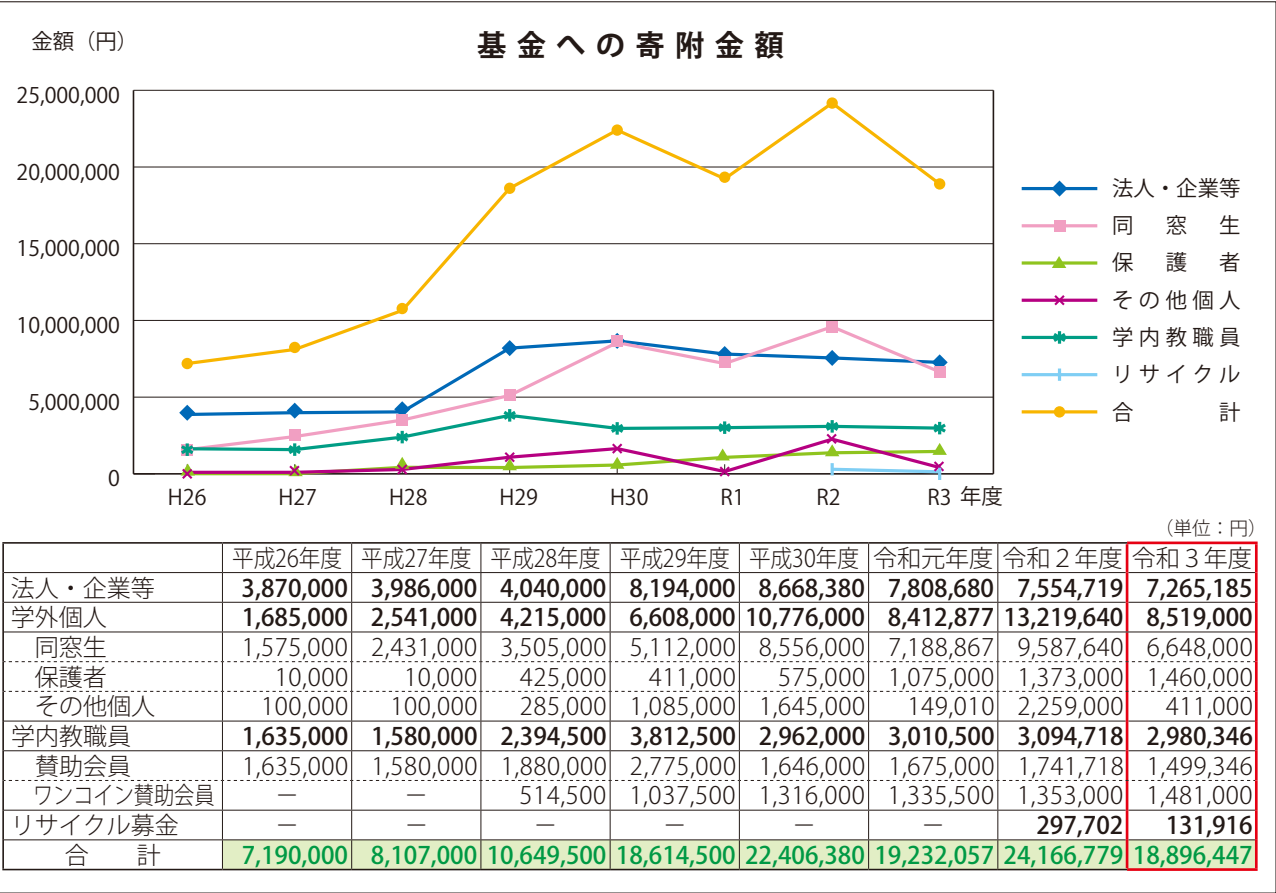
長澤秀行

近年は、同窓生の皆様、保護者の皆様、企業等の皆様に賛助会員にご加入いただき、多くの継続的なご支援をいただいております。安定した財政基盤を築くことが出来ております。基金事業が末永く実施できるよう、趣旨にご賛同いただき、是非とも大学基金への継続的なご支援にご協力くださいますようお願い申し上げます。

帯広畜産大学基金では、意欲と能力のある学生が学びの機会を諦めることのないよう、今後とも未来を担う学生たちへの支援を充実させるとともに、施設の改修等により修学環境を整備して参ります。引き続き皆様からのご支援を賜りたく、何卒ご協力をお願い申し上げます。

帯広畜産大学基金受入状況

令和4年3月31日現在



令和3年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	71	7,265
同 窓 生	326	6,648
保 護 者	52	1,460
そ の 他 個 人	17	411
教 職 員	170	2,980
リサイクル募金	62	132
小 計	698	18,896
利 息 収 入 等	—	3,005
合 計	698	21,892

支出の部

(単位：千円)

項 目	金 額
学生修学支援事業基金	
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除12名，入学料免除8名 2,735
学 資 給 付 事 業	学部生12名，大学院生7名 8,520
小 計	11,255
大学運営支援事業基金	
教育研究環境整備事業	障がい者乗馬施設整備の一部助成 500
社会貢献活動支援事業	畜大生による地域貢献活動である「ちくだいらんぷ」事業への支援 152
小 計	652
合 計	11,907

(単位：千円)

令和3年度現預金残高	期 首	298,550
	期 末	308,544

令和3年度大学基金奨学生との懇談会を開催

令和3年12月21日（火）に総合研究棟1号館において、令和3年度大学基金奨学生との懇談会を開催しました。

帯広畜産大学基金では、学生修学支援事業として、経済的理由によって修学に困難がある学業成績が優秀な学生を対象に、学資給付事業や授業料免除事業を実施しており、この懇談会は、大学基金による支援を受けた奨学生に大学基金の趣旨を理解していただき、有効に活用してもらうことを目的に開催しているものです。

奥田学長から奨学生へ向けて「感謝の気持ちを忘れず、卒業後は後輩へと支援が繋がるよう、大学基金への協力をお願いしたい」との挨拶があった後、奨学生からの報告が行われました。

学生からは「生活費をアルバイトで賄っている中で、アルバイトに割く時間を減らすことができ、学業や研究活動に打ち込む時間が増えた」「家庭の事情により家計の状況が苦しい中で、基金奨学金が学費や生活費の助けになった」などの感謝の言葉がありました。

終わりに、福島理事から「本奨学金の原資は同窓生や地域の方々、企業からのご寄附によって成り立っているものであることを忘れず、夢や目標に向かってより一層頑張ってください」との激励の言葉がありました。



奥田学長（前列中央）と奨学生
福島理事（後列右）と野並学長補佐（後列左）

基金奨学生からの感謝の言葉

「経済面や精神面での負担や不安が減り、勉学に集中することができています。」

畜産学部畜産科学課程 2 年 伊東 航



この度は昨年度に引き続き、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき心より御礼申し上げます。本奨学金のおかげで、経済面や精神面での負担や不安が減り、勉学に集中することができています。今年度は対面での講義や実習があり、食料生産を行うことの苦労や責任、重要性など身をもって感じる事が多く、充実した学生生活を送ることができました。また、来年度からは研究室に所属し、より専門的な学習内容も増えていきますが、奨学生としてふさわしい学生であるよう勉学に励んでいきます。そして、私も将来は経済的に困っている学生を支援していきたいと思っています。この度は誠にありがとうございました。

「奨学生としてふさわしい学生になれるよう精進し、皆様へご恩を返したいと思っています。」

畜産学部畜産科学課程 2 年 大澤 萌



この度は昨年度に引き続き、帯広畜産大学奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により通常とは異なる授業形態が続く不安も大きい中、アルバイトも自粛等で十分にはできない状態でした。そんな中、皆様からの温かいご支援により、家計への金銭的な負担が軽減し、学業に集中して取り組むことができています。二年次になり、専門的な科目が増える中で、今は野生動物と人との軋轢の解消、共生に関して興味があり、研究がしたいと考えております。今後ともご支援くださったすべての方への感謝の気持ちを忘れず、奨学生としてふさわしい学生になれるよう精進し、皆様へご恩を返したいと思っています。この度は本当にありがとうございました。

「より専門的になってきた学業への時間を増やすことが出来ました。」

畜産学部畜産科学課程 2 年 渡邊 和花



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。学年が上がり、より専門的になってきた学業への時間を増やすことが出来ました。今年度からは、昨年度はほとんど行われなかった対面での実習も行われ、非常に貴重な経験になっております。実習内容の充実や専門性は、本学への受験を決めた大きな理由の一つでもありました。全ての講義、実習を通して、幅広い観点から家畜について学ぶことができています。元々興味を持っていた家畜の飼養管理や生体機能に加え、栄養や公衆衛生といった分野への知見も広げることが出来ました。来年度からもご支援いただいた感謝の気持ちを忘れず、積極的に学ぶ姿勢を心がけたいと思います。

「今後ともご支援いただいた感謝を忘れず、日々精進してまいります。」

畜産学部共同獣医学課程 2 年 末松 樹子



初めに、帯広畜産大学基金にご寄附をいただいた皆様に感謝を申し上げます。大学では、獣医師を目指して勉学に励んでいます。2 年次からは、生理学や解剖学、薬理学など、専門科目の講義が増えました。その中で特に印象深かったのは、解剖学の実習です。実習では、牛や豚の解剖を行い、実際に筋肉の構造や内臓の位置関係を見ることができました。実習を通して、座学だけでは不明瞭だったことが明確になり、学びを深める良い機会となりました。最後になりますが、本奨学金をいただいたことで、お金の心配をすることなく、勉学に集中することができています。今後ともご支援いただいた感謝を忘れず、日々精進してまいります。

「両親への経済的な負担を減らすことができ、安心して学業に取り組むことができました。」

畜産学部畜産科学課程3年 笹山 航弥



この度は、帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。3年生になり実習が増えたことで、アルバイトに割く時間の確保が難しくなっていました。本奨学金をいただいたおかげで、両親への経済的な負担を減らすことができ、安心して学業に取り組むことができました。大変感謝しております。私は、大学構内の碧雲蔵で製造される日本酒を対象に、山廃酀製造過程における微生物叢遷移に関する研究をテーマに取り組んでいます。今後も、本奨学金のご支援への感謝の気持ちを忘れず、奨学生としてふさわしい学生であるよう精進していきたいと思っています。

「感謝を忘れず、今できることに取り組んで参りたいと思います。」

畜産学部畜産科学課程3年 石原和可菜



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございます。私には自宅外の通学をしている大学生の妹がおり、私達の学費や生活費によって家庭は経済的に厳しい状況です。私もアルバイトをしておりますが、時間が多く費やされてしまうので生活に余裕がありませんでした。奨学生として採用して頂いたおかげでアルバイトの時間を減らすことができ、勉学に集中することができるようになりました。大変感謝申し上げます。私は農業経済学ユニットに所属しており、座学や実習、研究室で日々たくさんのことを学んでおります。残り少ない学生生活ですが、ご支援を頂いた感謝を忘れず、今できることに取り組んで参りたいと思います。

「皆様の支援でできた貴重なチャンスを逃さないように日々努力していきたいと思っています。」

畜産学部畜産科学課程3年 中山 睦美



この度は帯広畜産大学基金を授与してくださり、誠にありがとうございます。私は農業を営む家庭で育ち、自然と農業に関心を持ち、学びたいと思いここに入学を決めました。1年生の頃からバイトを掛け持ちしながら両親の経済的な負担を減らそうと3つのアルバイトを1日のうちにこなしながら生活をしていました。しかし、私の大学生活でやりたかったことは学業に励むことでありアルバイトではありませんでした。自分の本当にやりたいことをやる為に本奨学金制度のことを知り申請いたしました。奨学生に採用された事でアルバイトの時間を減らし、その分を勉強時間に充てることができました。皆様の支援でできた貴重なチャンスを逃さないように日々努力していきたいと思っています。

「感謝の気持ちを忘れず、奨学生に相応しい姿勢で学業に取り組んで参ります。」

畜産学部畜産科学課程3年 中村 晶子



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は本年度、社会人から3年次編入生として帯広畜産大学に入学しました。独立生計の為、学費や生活費は奨学金とアルバイトで賄う必要があり、学業との両立が心配でしたが、本奨学金のおかげで金銭面の負担が減り、勉強時間をより確保することができました。現在は、家畜繁殖学の研究室に所属し、ウシ卵子に副腎皮質ホルモンが果たす役割とその作用を研究する為の実験手法を学んでいます。卒業後は大学院に進学し、引き続き家畜の生産性向上に繋がる研究をしたいと考えています。今後ともご支援いただいた皆様に感謝の気持ちを忘れず、奨学生に相応しい姿勢で学業に取り組んで参ります。

「自身が熱中できる勉学を思う存分集中して勉強できる環境があり，心から感謝しております。」

畜産学部共同獣医学課程 3 年 工藤 綾



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。私は獣医師へなるために再受験により帯広畜産大学へ入学しており，定年退職している両親には多くの負担をかけております。入学前はアルバイトで補うつもりでしたが，獣医学の勉強は想像以上に膨大で難度が高く，学年が上がるごとにアルバイトを行う余裕がなくなっていました。本奨学金を頂いているおかげで，現在こうして自身が熱中できる勉学を思う存分集中して勉強できる環境があり，心から感謝しております。皆様の暖かいご支援により恵まれた環境で学ばせていただいていることを心に刻み，他者のために尽力する立派な獣医師を目指していきます。

「僕にとってこの給付奨学金は，地獄に垂らされた一本の蜘蛛の糸の如き光明でした。」

畜産学部共同獣医学課程 3 年 畑 耕平



共同獣医学課程 3 年の畑耕平と申します。この度は基金奨学金に選考いただきありがとうございました。

僕は競走馬の獣医という夢を追いかけて，在学していた東京の大学を中退し，周りの子たちと 5 歳差で入学しました。自分の我儘で親に迷惑をかけつくした 20 代前半を過ごしてまいりましたので，一切の金銭的援助なきまま，毎日の勉強，留年の危機，獣医師国家試験などなど迫りくる強大な敵どもを打ち滅ぼしていかなければなりません。そんな僕にとってこの給付奨学金は，地獄に垂らされた一本の蜘蛛の糸の如き光明でした。

感謝を忘れず，地獄を抜け出るその日まで，精進していきます。

「多くの人に良い影響を与えられる仕事を全うしたいと考えています。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 宮崎 美南



この度は，帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。私は圃場に出て畑作業を行う研究室に所属しており，作業時間の確保に伴いアルバイトの時間を減らさざるを得ず，自分自身で学費を賄うには苦しい状況でした。しかし奨学金をいただけたおかげで金銭面に対する悩みが大幅に減り，「油糧作物の十勝地方への新規導入」の研究にもより一層精を出すことができ，この事を武器に希望の企業に内定をいただくことができました。この先も頂いた御恩を忘れず念頭に置きながら，多くの人に良い影響を与えられる仕事を全うしたいと考えています。また，自分が頂いた御恩をいつかお返ししたいと考えております。

「心から感謝し，成果を残せるように精進していきたいと思ひます。」

畜産学部共同獣医学課程 5 年 佐藤 未都



この度は帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで金銭面の負担が減り，アルバイトへの時間が削減され，より学業に集中できるようになりました。また，感染症の流行により安定してアルバイトを行うことができず，奨学金をいただき本当に助かっています。私は現在共同獣医学課程の 5 年生で，原虫病研究センターの研究室に所属しています。そこでは，バベシア症を引き起こす原虫について研究をしており，私も原虫の生存に関わると思われる分子について，機能を解析するなどの研究をしています。今後研究や，獣医学をさらに学んでいくにあたって，奨学金をいただいていることに心から感謝し，成果を残せるように精進していきたいと思ひます。

「生活費の工面を心配することなくアルバイトの時間を減らし、研究に集中することができています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 佐藤 成子



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。大学院では原虫伝播を阻止するワクチン開発のための基礎研究として、原虫の媒介者であるマダニ体内における原虫伝播メカニズムの解明に取り組んでいます。実験にはマダニなどの動物を用いるため予定通りに進まず、アルバイトの時間を確保することが難しくなっていました。現在は本奨学金に採用していただいたおかげで生活費の工面を心配することなくアルバイトの時間を減らし、研究に集中することができています。これもひとえに皆様のお力添えによるものと、心より感謝しております。今後もより一層勉学に励み、社会に貢献できるよう頑張ります。

「本奨学金を受給させていただいたことで研究に集中することができています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 森田 季恵



新型コロナウイルス感染症の影響により、2018年から続けていたアルバイトが2021年春になくなりました。学部の時からエゾフクロウの研究をしており、春から秋は夜間に十勝平野内の森林へ赴き、エゾフクロウの分布把握調査を行ってきました。昨年の秋からは巣箱の設置も行い、この春からは繁殖状況の観察も行う予定です。このように、研究のために日々多くの時間を割いていることに加え、野外での調査は天候に左右されやすく予定外に調査を延期することもあります。そのため、アルバイトに割く時間を確保するのが難しく、本奨学金を受給させていただいたことで研究に集中することができています。奨学生として採用していただいたこと、心より御礼申し上げます。

「ご支援のおかげで就学を続けられることに心から感謝し、今後も勉学に励んでいきたいと思っています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 千葉 栞



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。本奨学金の給付により、アルバイトの時間を減らすことができ、研究活動に集中して取り組むことができています。私は3年次から家畜育種学の研究室に所属し、統計育種学を専攻しております。卒業研究では乳牛における泌乳曲線を適切に表す数学モデルについての研究を行ってまいりました。現在は、乳牛の体内で産生されるケトン体の遺伝的解析と疾病との関連について調査をしています。皆様のご支援のおかげで就学を続けられることに心から感謝し、今後も勉学に励んでいきたいと思っています。

「この度の御恩を確と心に留めるとともに、向学心を持つ人達が自由に学べる社会づくりに貢献して参りたいです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 村上 董



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。私は学部時代から野生動物学研究室に所属しており、糞中DNAを用いたエゾモモンガの食性研究を進めております。感染症の流行に伴う情勢悪化、家庭内の事情など、学業を続ける上で多くの壁に直面しますが、こうして多くの方からご支援を賜うことができ、恵まれていると感じます。私の周りにも経済的な事情により苦勞をしている学生達がおり、アルバイトに多くの時間と労力を費やす者や、いずれ来る貸与型奨学金の返済に悩まされる者も少なくありません。私はこの度の御恩を確と心に留めるとともに、向学心を持つ人達が自由に学べる社会づくりに貢献して参りたいです。

「家庭の事情で金銭的な余裕がない中、幼い頃から大好きで興味のあった「きのこ（菌類）」が研究の出発点となる課題に取り組んでいます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 大井 和佐



帯広畜産大学基金へご寄附いただいた皆様とすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。家庭の事情で金銭的な余裕がない中、入学以前より憧れていた微生物生態学研究室に所属し、幼い頃から大好きで興味のあった「きのこ（菌類）」が研究の出発点となる課題に取り組んでいます。森林生態系における落葉分解菌の生活様式の理解を深めることを目的として、林床から採取したきのこから作出した培養菌株を用いて落葉の分解実験を行い、分解特性等を研究中です。また、現在は研究内容に関する専門外の勉強や、読書等にも僅かながら時間を充てることができております。皆様のご支援のおかげで心だけは豊かにいられているというこの上ない喜びを念頭に置き、邁進してまいります。

「卒業後は、学生生活で得た知識、技術を活かして、胚培養士として不妊治療の現場で活躍したいと考えています」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 尾島 沙来



この度は、帯広畜産大学基金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学金のお陰で、アルバイトに割く時間を減らすことができ、日々の研究活動に励むことができます。現在は「精巣の炎症が精子受精能に及ぼす影響」をテーマに、来年度の修士論文の執筆に向けて、実験に取り組んでいます。今後は就職活動と並行しながら、研究に一層力を入れ、生殖工学分野への知見をさらに深め、自分自身の専門領域として確立していきたいです。そして卒業後は、学生生活で得た知識、技術を活かして、胚培養士として不妊治療の現場で活躍したいと考えています。

「ご支援いただいた皆様への感謝の意を忘れることなく、立派な研究者、そして社会人になれるよう精進いたします。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 中村 祐香



この度は、帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。いただいた奨学金のおかげで、生活のためのバイトの時間を減らすことができ、論文執筆や研究活動に集中して取り組んでいます。私は、現在の北海道において、気候変動に伴う放牧への影響を明らかにすることを目的とし、被毛や糞を用いた放牧牛のストレスを調査しています。畜産業における放牧牛管理や、非侵襲的なストレス測定技術の知見を深める研究を目指し、今後とも研究活動に励んでいきたいと思ひます。最後になりますが、ご支援いただいた皆様への感謝の意を忘れることなく、立派な研究者、そして社会人になれるよう精進いたします。

「家畜育種について学びたいと考え帯広畜産大学に入学したので、興味のある専門分野の研究ができ大変嬉しく思います。」

畜産学部畜産科学課程3年 青沼 実穂



昨年に引き続き、帯広畜産大学基金奨学金に採用していただきまして誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで金銭面の不安が減り、学業に集中することができました。私は現在畜産科学課程の3年生で、乳牛の育種についての研究室に所属しています。今は家畜育種について座学や実習等で勉強しており、これから自分の卒業研究のテーマを決めていく予定です。家畜育種について学びたいと考え帯広畜産大学に入学したので、興味のある専門分野の研究ができ大変嬉しく思います。卒業後も大学で学んだことを生かせるような仕事に就きたいと考えています。残りの大学生活も、本奨学金をいただいていることに感謝し、精一杯勉学に励もうと思ひます。

「本奨学金のおかげで、勉強の時間をつくることができ、目標の研究室の配属も決定しました。」

畜産学部畜産科学課程3年 武田 千花



この度は帯広畜産大学基金の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で、現在2つのアルバイトと学業を両立しています。時には、出勤を減らさざるをえない時期や精神的に苦しくなる時期もありますが、そのたびに家族や友人の存在、そして奨学生であることに支えられています。今の私があるのは、支えて下さる多くの方がいるおかげだと心から思います。本当に感謝の想いでいっぱいです。本奨学金のおかげで、勉強の時間をつくることができ、目標の研究室の配属も決定しました。今後は大好きなウミガメの研究をする予定です。より忙しい日々が始まると思いますが、今後も感謝の気持ちを忘れず、自身の目標に向けて精進し、今後も奨学生として相応しい学生になれるよう努めて参ります。

「授業料免除のおかげで学生生活が充実し、また家族への負担を少しでも減らすことができました。」

畜産学部畜産科学課程3年 林 美果



この度は、授業料免除を受けさせていただきありがとうございます。3年生となった今年度は、野生動物学研究室に配属され、研究テーマが決まり、エゾモモンガの資源利用について来年度から研究していきます。また、私は教職免許の取得を目指しているため、教職科目を履修し、ここで学んだことを活かし夏ごろに教育実習に行ってきます。現在、奨学金とアルバイトでは生活費に加えて授業料まで賄うことが難しく、授業料免除のおかげで学生生活が充実し、また家族への負担を少しでも減らすことができました。今後ともご支援いただいた皆様に感謝し、精進できるように学生生活に励んでいきます。

「この大学で学んだことをこれからの進路に活かし、私も誰かのためになるような活動や挑戦をしたいと思っています。」

畜産学部畜産科学課程3年 富田 綺咲



私の家庭は母子家庭のため、小学校からの学費を母一人の収入で支払ってきました。そのため、大学に進学することで今まで以上に負担が大きくなることを懸念して、大学進学を躊躇っていました。しかし、授業料免除を受けさせていただいたことで、大学にて自分が学びたかった学門が学べるようになり、これを今までの3年間続けることができました。今までの大学生活が実現しているのは授業料免除のおかげです。本当にありがとうございます。この3年間、この大学で学んだことをこれからの進路に活かし、私も誰かのためになるような活動や挑戦をしたいと思っています。また、これからの大学生活において、授業料免除によってこの学習が出来ることを頭において、より一層学業・研究に尽力していきたいと思っています。

「学ぶ機会、学びによる新しい発見、そして仲間たちと切磋琢磨し試験を乗り越えていくかけがえのない日々等を与えてくださり本当に感謝しております」

畜産学部共同獣医学課程3年 谷地田桃子



この度は授業料を免除して頂きありがとうございます。私は本来ならば社会人として働いていなければならない年齢ですが、獣医師になりたいという思いを捨てきれずに、大学に入学しました。授業料免除の制度がなければ、大学に通うことは難しく途中で諦めていたかもしれません。このように免除して頂けることで、とても充実した毎日を送らせて頂いています。学ぶ機会、学びによる新しい発見、そして仲間たちと切磋琢磨し試験を乗り越えていくかけがえのない日々等を与えてくださり本当に感謝しております。感謝してもしきれません。自分と同じように、諦められない夢や、年齢なんて関係なしにもう一度学びたいといった気持ちがある人は他にもいるのではないかと思います。幾つになっても学べる機会は与えられているということを知って貰えたら嬉しいなと思います。改めてありがとうございます。

「本奨学金のおかげで、4年間の集大成である卒業研究などの学業に集中することができました。」

畜産学部畜産科学課程4年 杉本 真帆



この度は、帯広畜産大学基金奨学金の奨学生に採用して頂きありがとうございます。コロナ禍でアルバイトの収入が減少してしまいましたが、本奨学金のおかげで、4年間の集大成である卒業研究などの学業に集中することができました。私は食品機能化学研究室に在籍し、卵に含まれる脂質について研究を行っています。研究を行う中で、卵に含まれるスフィンゴミエリンが大腸がんの前身である大腸腺腫を抑制し、大腸がんのリスクを減少させる可能性があることがわかってきました。このような食事とがんという身近で興味深い内容の学びに打ち込むことができたのは、皆様のおかげです。誠にありがとうございました。残りの学生生活も悔いのないよう、過ごしてまいります。

「授業料を免除していただいたため、金銭面での負担が減り、学生生活をより有意義に送ることができています。」

畜産学部共同獣医学課程4年 一色 乃亜



この度は授業料免除をしていただき誠にありがとうございます。授業料を免除していただいたため、金銭面での負担が減り、学生生活をより有意義に送ることができています。新型コロナウイルスの流行によりアルバイトの収入が減ったので、本当に助かりました。私は現在共同獣医学課程の4年生で12月に研究室に配属されました。私の所属している研究室では鳥類のシトクロムP450やグルクロン酸抱合などの異物代謝に関わる酵素を調べる研究をしています。今は獣医学の勉強に加え、研究のための実験の手技や理論について学んでいます。皆様のご支援に心より感謝し、多くの方々に支えられていることを忘れず、実りの多い学生生活を送りたいと思います。

「診療後に研究を進めるためアルバイトをする余裕がない中、学生生活に打ち込めているのは授業料免除のおかげです。」

畜産学部共同獣医学課程5年 佐藤 景



この度は授業料を免除していただき誠にありがとうございます。私は北海道大学の獣医内科学教室に所属し、動物医療センターの診療に携わりながら研究を行っております。テーマは猫の心筋症で、ピモベンダン処方した症例に関して心エコーの解析ソフトを用いて心臓の動きを評価しています。心筋症は約20%の猫が罹患すると多い心疾患ですが、治療薬の1つであるピモベンダンは猫における強固なエビデンスはありません。従来とは異なるアプローチで新たな知見が得られればと考えています。診療後に研究を進めるためアルバイトをする余裕がない中、学生生活に打ち込めているのは授業料免除のおかげです。皆様のご支援により学ぶ機会を頂いたことに感謝し、獣医療の発展に貢献していきたいと思っています。

「論文投稿に向けてご指導頂いている先生と意見を交わし、学位論文をまとめられるよう精進していきたいと考えています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻博士後期課程2年 中村 謙二



この度は、帯広畜産大学基金のご支援による授業料免除に採用頂き、心から感謝申し上げます。私は博士課程で多収小麦の育種に関する研究を行っています。近年、日本では食文化の変化から小麦の需要が高まっている一方で、国内自給率は依然として低い状況です。

この問題を育種学的な側面から解決するため、多収品種の育成に向けた基礎研究に取り組んでいます。本年度は今まで取得してきた栽培試験データやDNAマーカーの情報から多収性に関連する遺伝要因の一端を明らかにすることができました。論文投稿に向けてご指導頂いている先生と意見を交わし、学位論文をまとめられるよう精進していきたいと考えています。

「今後も、就職先で畜産に携わることになると思いますので、大学院で学んだことを活かしていけたらと考えています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 島袋 大空



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により授業料免除をしていただきありがとうございます。私は家庭の事情で親からの仕送りもなく、アルバイトと奨学金のお金で生活をしなければなりません。そのため、授業料免除をしていただいたおかげで生活に余裕もでき、学業にも専念することができました。私は現在、牛枝肉カメラを用いた枝肉横断面の画像解析精度の検証を行い、牛枝肉の機械格付の実現を目指して研究をしています。牛枝肉の機械格付が実現できれば、格付員の負担を減らすことも可能であり、食肉産業界に大いに活かされと考えています。今後も、就職先で畜産に携わることになると思いますので、大学院で学んだことを活かしていけたらと考えています。最後になりますが帯広畜産大学基金に携わる皆様に感謝申し上げます。

「母子家庭であり、家計が厳しい状況でしたが、授業料を免除して頂いたおかげでアルバイトに時間を費やすことなく、学業に専念することができました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 北川 航大



この度は、帯広畜産大学基金を通して、授業料を免除して頂き、誠にありがとうございました。私は日本の食料自給率向上に貢献したいという思いで本学に入学し、現在、作物の生産性を増加させる微生物の研究を行っております。特に、近年増加している塩害や干ばつに適応した作物生産を実現するために、作物のストレス耐性を向上させる微生物の探索およびそのメカニズムの解明を行っています。私は母子家庭であり、家計が厳しい状況でしたが、授業料を免除して頂いたおかげでアルバイトに時間を費やすことなく、学業に専念することができました。本当にありがとうございました。

「他大学から畜大大学院に入学したため始めは不安がありましたが、授業料を免除して頂いたおかげで、大好きな馬のことを思う存分学べ、とても充実した時間を過ごすことができました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 野谷 夏海



私はウマのストレス評価に関する研究をさせて頂きました。ウマの唾液に含まれるストレスホルモンの濃度を測定するもので、日本の在来馬である北海道和種馬、ばんえい競馬でも活躍する日本純系種などを対象としました。馬で畑を耕す「馬耕」の現場でもサンプリングをさせて頂き、大変多くの学びと経験を得ることができました。他大学から畜大大学院に入学したため始めは不安がありましたが、授業料を免除して頂いたおかげで、大好きな馬のことを思う存分学べ、とても充実した時間を過ごすことができました。そして課外活動にも大いに励むことができました。ご寄付頂いた方々には本当に感謝しています。私の研究活動で少しでも社会のため、馬のためになるような結果が残せていたら、それ以上の幸せはありません。

馬介在活動室の新たな馬係留場の整備費用を助成しました

令和3年10月に、本学馬介在活動室に新たな馬係留場（馬の繋ぎ場）が完成しました。馬介在活動室では「人と馬の絆プロジェクト」に取り組んでおり、馬を使った教育研究活動、馬術競技やスポーツ乗馬に加え、さまざまな障がいを持った方に馬とのふれあいや乗馬体験を提供する「ホースセラピー活動」を展開しています。

従来の馬係留場は老朽化が進み、地面の水はけが悪く冬季は地面が凍結するなど、使用に課題がある状況でした。新たに完成した施設では、6頭の馬を繋ぐことができ、排水溝や2台分の障がい者用駐車場も整備されました。

帯広畜産大学基金では、大学運営支援事業として、この馬係留場の施設整備費を一部助成しました。本設備はこのほか、クラウドファンディングプロジェクトによる支援などを受け建設されました。

10月13日（水）には、完成した馬係留場がお披露目され、同日には「障がい者乗馬体験事業」も実施されました。



完成した馬係留場



障がい者乗馬体験事業の様子

令和3年度ちくだいらんぷ事業について

事業を通じて学生の地域志向を育み、卒業後も十勝の応援団として活躍する人材づくりを目的に、学生が中心となり、帯広・十勝の活性化を図る「ちくだいらんぷ事業」の取組を支援しました。「文化・スポーツコース」「地方創生・地域活性化コース」「おびひろ動物園活性化コース」の3コースに分け、学生から企画を募集しました。今年度は全4件の事業を採択し、活動を行いました。

◇文化・スポーツコース（愛称：「みんなのちくだい。」）

文化活動やスポーツ活動を通じた畜大生自身による地域貢献活動により、地域の人たちと交流を深められる体験型のコース

団体名	事業名
カーリング部	世界へ羽ばたけ！カーリング体験
陸上競技部	走る！跳ぶ！投げる！はじめての陸上教室2021

（採択事業2件）

世界へ羽ばたけ！カーリング体験

地域の小学生を対象とした、カーリング部によるカーリング体験教室を実施しました。帯広ならではのスポーツであるカーリングの魅力を伝え、カーリング競技に興味を持ってもらうことを通じて地域のジュニア競技人口の活性化を図ることを目的に掲げています。



走る！跳ぶ！投げる！はじめての陸上教室2021

陸上競技部による陸上教室を実施しました。部員の指導のもと、地域の小学生に「走る・跳ぶ・投げる」の陸上競技を構成する3つの要素を体験してもらうことで運動を身近なものとし、陸上を始めるきっかけをつくることを目的としています。



◇おびひろ動物園活性化コース（愛称：「ずーぷろ」）

おびひろ動物園を今よりもさらに魅力的にするために、畜大生が自主的に企画するコース

団体名	事業名
ozuful	ENJOY おびひろ動物園
うしぶ。	おびひろ動物園のほ乳類の不思議

（採択事業2件）

ENJOY おびひろ動物園

学生団体ozufulは、動物に対する理解を深め、SNSを用いた企画を通してより多くの人におびひろ動物園の魅力を知ってもらい、足を運んでもらうきっかけづくりとして、幅広い動物について紹介する動物図鑑の作成と、TwitterやInstagramを利用した写真コンテストを実施しました。



おびひろ動物園のほ乳類の不思議

うしぶ。は、おびひろ動物園で飼育されている動物の中から哺乳類に焦点を当て、展示やスタンプラリー企画を通して動物の種類によって異なる乳成分や哺乳方法の違いの面白さを知ってもらい、人間も含まれる哺乳類の動物たちをより身近に感じてもらう企画を実施しました。



寄 附 者 ご 芳 名

【企業・団体等】（72団体）

（五十音順・敬称略）

【100万円】

敷島製パン(株)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

【30万円】

(株)土谷特殊農機具製作所 十勝農業協同組合連合会 宮坂建設工業(株)

【25万円】

帯広信用金庫 ※

【20万円】

(株)十勝毎日新聞社 ハラデンキ(株) 宮本機械(株)
よつ葉乳業(株)

【10万円】

朝霧メイプルファーム(株) 内外施設工業(株) (株)北海道フーズ

【5万円～9万9千円】

帯広畜産大学同窓十勝会 十勝信用組合 十勝農協連畜大同窓会
農業生産法人(株)リトルブルーファーム (株)平田建設 北王コンサルタント(株)

【2万円】

出雲ペットクリニック (株)小澤建設 (株)ダイイチ
山の下ペットクリニック

【1万円】

(株)伊豆倉組 (株)エヌシーおびひろ (株)十勝生ハム製造研究所
バイオマスリサーチ(株) 富士金網製造(株) (株)山本忠信商店
YSヤマショウ(株)

※ 令和元年度基金報告（第10号）（P19）及び令和2年度基金報告（第11号）（P12）
におきまして、帯広信用金庫様の記載に漏れがありました。謹んでお詫び申し上げ
ますとともに、以下のとおり訂正いたします。

（誤）：記載なし

（正）：【25万円】

帯広信用金庫

【企業名・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(株)アイエイチメンテック
 合同会社エイル
 帯広商工会議所
 (株)笹原商産
 (株)曾我
 東洋農機(株)
 十勝地区農業協同組合長会
 熱源設備(株)
 北辰建設工業(株)
 北海道農業協同組合中央会帯広支所
 (株)柳月

(有)青田企画巧芸
 大槻理化学(株)
 帯広地方卸売市場(株)
 士幌町農業協同組合
 大昭電気工業(株)
 十勝清水町農業協同組合
 長居動物病院
 美瑛町農業共同組合
 北成建材工業(株)
 三菱商事(株)北海道支社

(株)アクト
 帯広市川西農業協同組合
 (株)北口電器商会
 全国酪農業協同組合連合会
 税理士法人竹川会計事務所
 (有)十勝スロウフード
 (株)日専連ジェミス
 藤原工業(株)
 北海道電力ネットワーク(株)
 宮本商産(株)

不掲載希望 11団体

[個人・学外] (362名)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

齊藤 篤

【20万円】

吉田 武徳 今田 忠夫

【15万円】

佐藤 和久

【10万円】

伊藤 喜久治	猪田 玲子	押尾 孝一	小田 昌秀
小野 齊	加藤 道博	林 克昌	武藤 ぼくじ
諸角 元二	屋代 彩わ子		

【6万円】

三浦 輝雄

【5万円】

浅沼 敏生	石井 愛子	繁田 裕子	丹野 久夫
長澤 秀行	名和 靖史	畑中 千啓	山中 健司
横尾 博	吉次 茂昭		

【4万円】

澤田 拓士

【3万円～3万9千円】

安田 昌英

【3万円】

坂井 清治

中村 隆宏

【2万円】

池田 奉昭

印牧 馨

佐藤 理映

村林 宏

石川 諭史

河口 和吉

平野 文子

森井 恒幸

石橋 憲一

木暮 靖志

深沢 晃

森田 邦雄

内山 和夫

小山 洋

藤村 裕一

矢木沢 徳弘

【1万円～1万5千円】

齋藤 温子

早坂 純一

【1万円】

有賀 秀子

稲田 一郎

宇草 哲夫

恩田 求

亀尾 勇人

木本 友美

清水 良臣

関水 朋大

高橋 次夫

西 武久

林 俊克

宮本 道男

和田 明

安藤 弘

乾 英二

海村 正義

影山 晴久

亀渕 雅彦

久保田 政男

下道 宏作

高木 俊雄

高橋 勉

橋本 良行

福屋 直人

森本 英敬

渡辺 順

石川 光男

岩崎 繁基

大宮 良文

勝俣 和悦

川畑 吉弘

佐藤 基佳

末広 彰

高橋 英三

長南 隆夫

濱崎 裕

益田 邦郎

横沢 冲彦

渡辺 睦実

市村 豊

岩波 道生

折橋 秀夫

加藤 伸二

川原 勝則

柴田 雄二

砂川 敏文

高橋 繁男

中屋 尚也

早坂 貴代史

三上 正幸

横山 敏

【5千円】

石田 雅嗣

上田 佐代子

齋藤 敦子

磯野 進三郎

大西 博

中田 俊明

依藤 充明

川島 徹

別所 明

岩佐 博仁

倉富 聡

山本 誠次

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

相場 武	浅倉 幾美	荒尾 進介	有沢 道朗
安馬 知子	飯 武勝	飯田 吉彦	石川 智之
石川 正信	石郷岡 政広	石田 正人	石森 久雄
伊藤 邦博	伊藤 隆範	伊藤 仁志	井上 美紀
岩永 敏彦	岩橋 量三	宇井 三喜子	内海 真奈美
大岩 成	大内 聖和	大芝 英明	大杉 雄毅
大竹 敏恵	大槻 啓二	大山 洋	岡 初次
岡崎 充成	奥田 善基	奥村 隆雄	小原 裕光
梶 隆	鎌田 隆	川崎 寧	川田 泰正
川村 雅貴	菅野 典雄	神林 昌也	久住 正博
久保田 学	小疇 浩	小池 久吉	高良 和恵
高良 広之	古賀 元美	小西 正人	小林 幹子
近藤 正治	近藤 隆	齐藤 正明	斎藤 政克
酒井 國雄	坂口 加奈	佐藤 邦忠	佐村 久夫
島 哲哉	島貫 正道	白井 茂雄	白澤 昌彦
白戸 綾子	新酒 英暁	鈴木 光則	住友 寛
涛野 映子	瀬子 明代	園田 眞	高桑 修
高嶋 浩一	高田 一弘	高橋 一夫	高橋 セツ子
高橋 直記	高橋 秀清	高橋 やす子	高畠 孝一
高松 彰義	高安 皓一	建木 節雄	竹迫 紘
竹迫 真樹	田澤 博実	太島 聰	田島 富雄
田中 静幸	田中 秀明	千田 仁之	辻本 登志英
敦賀 謙一郎	東條 雅彦	中川 欣三	中島 進
中野 賀文	中村 睦	西田 讓	西村 達弥
新田 隆典	野川 浩道	野本 優二	羽柴 清志
橋本 圭	橋本 政典	蜂谷 進	羽田 昭夫
林 三千恵	原 由希恵	広瀬 春行	深澤 秀夫
福本 幸久	星野 敏伸	細井 大	細川 誠
増本 多喜子	丸子 秀策	丸山 和夫	丸山 和良
丸山 純孝	三浦 和郎	水本 麻湖	三野 康洋
三原 正士	宮尾 賢子	宮崎 達也	宮原 達史
三好 雅史	村上 豊	森 幸二	矢島 大彰
矢島 裕一	安田 隆明	山岡 秀俊	山口 まどか
山口 佳男	山崎 孝雄	山下 博司	山本 素子
勇川 順子	楊 仕元	横山 誠人	吉澤 久美
吉田 定弘	吉野 英治	米山 修	和田 芳昭

不掲載希望 108名

[個人・学内] (145名)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

井上 昇

【30万円～40万円】

門屋 充郎

【10万円～20万円】

奥田 潔

【5万円～9万9千円】

大坪 秀典 野並 雅章

【1万円～4万9千円】

石原 鮎美	石原 貴文	大林 姿子	小川 晴子
小田 賢一	笠原 誠人	嘉屋 元博	川島 千帆
川村 正洋	木下 林太郎	草場 信之	口田 圭吾
佐藤 健一	高橋 伸治	千葉 三都希	手塚 雅文
西田 慎吾	福島 道広	福田 健二	舛川 正晃
宮崎 さと子	宗岡 寿美	村上 徹	村西 由紀
森 正彦	柳川 久	和田 大輔	

【～9千円】

生田 和哉	石割 厚希	海田 芳隆	加藤 豊
木村 美紀	玄 学南	坂本 さや香	杉田 帆奈美
高石 竜一	津野 由希	中島 司典	中野 昌明
花田 正明	堀田 努	矢吹 衣理奈	山口 将
若木 海理			

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

相内 大吾	麻田 正仁	穴澤 清幸	有安 友美
石井 利明	梅津 一孝	大川 晶由里	大西 一光
岡村 雅史	春日 純	加藤 優馬	金山 紀久
茅野 光範	川畑 秀伸	木村 賢人	後藤 達彦
小山 耕平	斉藤 準	佐藤 禎稔	田上 正明
高橋 良江	武田 洋平	武山 暁子	田中 秀樺
谷 昌幸	塚本 孝志	David Campbell	得字 圭彦
西田 武弘	早坂 美穂	東 陽介	古岡 秀文
蒔田 均志	松井 基純	松本 高太郎	松元 志帆
間宮 光岳	三浦 秀穂	村田 浩一郎	山崎 栄樹
山本 渉	吉野 綾華	渡辺 純	

不掲載希望 53名

帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 14名（任期2年：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	長澤 秀行
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮坂 寿文
	日本甜菜製糖(株) 取締役 専務執行役員 芽室製糖所長	鈴木 良幸
	よつ葉乳業(株) 執行役員十勝主管工場長	池浦 二郎
	帯広商工会議所 会頭	川田 章博
	帯広信用金庫 理事長	高橋 常夫
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩史
	(株)土谷特殊農機具製作所 会長	土谷 紀明
	(株)ズコーシャ 代表取締役会長	関本 裕至
	特定非営利活動法人十勝障がい者支援センター 理事長	門屋 充郎
	帯広畜産大学同窓会 会長	西田 譲
	帯広畜産大学 副学長	福島 道広
	帯広畜産大学 副学長	古林与志安
	帯広畜産大学 副学長	中野 昌明

帯広畜産大学基金規程

平成22年 1 月21日規程第 1 号

制 定

改正 平成28年 7 月29日規程第30号 平成29年 3 月28日規程第15号

令和 4 年 4 月 1 日畜大規程第 1 号

(設 置)

第1条 帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を貸与又は給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。ただし、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界又は同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の管理)

第4条 学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）は、この規程及びこの規程に基づく定めによるほか、国立大学法人北海道国立大学機構寄附金取扱規程（令和4年度機構規程第88号）により寄附の管理を行うものとする。

(基金の使途)

第5条 学長は、各基金の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第6条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）

が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

(賛助会員)

第7条 各基金の目的に賛同する者は、賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

(事業年度)

第8条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(庶務)

第9条 各基金の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第30号）

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月28日規程第15号）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金賛助会員規程

平成22年1月21日規程第2号

制 定

改正 平成28年7月29日規程第31号 令和4年4月1日畜大規程第1号

(趣 旨)

第1条 帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第7条第2項の規定に基づき、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、継続的に事業に協力するものであって、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申し込むことができる。

- (1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。
- (2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第31号）

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金運営委員会細則

平成22年1月21日細則第1号

制 定

改正 平成24年2月16日細則第12号 平成27年6月2日細則第7号

平成28年5月24日細則第4号 令和4年4月1日畜大細則第1号

(趣 旨)

第1条 この細則は、帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第6条第3項の規定に基づき、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長のうち、学長が指名する者
- (3) 帯広畜産大学の役員及び職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) その他学長が必要と認めた者 若干人

(任期)

第4条 前条第3号から第5号までの委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第3条第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（令和4年4月1日畜大細則第1号）

この細則は、令和4年4月1日から施行する。



発 行 令和4年6月
編集発行 国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学
企画総務課 基金・広報係
所 在 地 〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
電話番号 (0155)49-5219
<https://www.obihiro.ac.jp/fund>
